

平成30年度自己評価及び学校関係者評価

1. 学校の教育目標

地域医療・地域福祉の最前線を担う即戦力となる人材を育てる

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学生を見る

～自己理解を通して自分を高め、他者の理解を深められる学生を育成するために～

目標達成のための基本姿勢

- (1) 教職員は学生に対する思い込みを払拭し、学生の生活・学習の現状及びその背景を多面的に把握することに努める。
- (2) 教職員は学科と職務の垣根を越えて学生に関する情報を共有し、学生への対応を検討しあい、対応の結果を共有する。

具体的方法

- (1) 教員の学生理解のためにことばの発達に関する勉強会・検討会の定期開催
- (2) 学生のアセスメントシートの作成
- (3) 多様な体験の場の創出～カリキュラムの枠を超えて～
- (4) 地域との連携、地域の中での教育
- (5) 情報共有のための方法のシステム化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4	・法人理念のもと、学校の目的・育成人材像を明確にしている。学生に対しては、学生便覧・パンフレット・ホームページ・サンビ便り（学校だより）への明記のほか、様々な機会を通して説明している。しかし、保護者全体へは入学式及び式典後の保護者説明会のみとなっている。保護者とともに学生を育てる学校の方針に沿って、個人面談とは別に次年度より保護者懇談会を開催する必要がある。 ・本校の職業教育の特色として、基本的な職業教育を設置法人の近隣施設と協力して実施している。
・学校における職業教育の特色は何か	4	4	
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4	
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3	3	
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。 個々の保護者との関りでは、今回学校開催の保護者懇談会を提案されているが、できれば保護者による保護者会の方がより良いと思われる。 職業人としての基本的態度は大変重要なので、今後も法人全体で育成してほしい。			

(2) . 学校運営

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	・毎年、設置法人全体で事業計画を立て、運営している。本年度の法人のキーワードは「人を見る」。それに対する学校の目標を「学生を見る」とし、学科の垣根を越えて情報共有してきた。 ・諸規定により、意思決定機能が明確化されている ・本年度10月に教育課程編成委員会規約と学校関係者評価委員会規約を規定し、12月に教育課程編成委員会と学校関係者評価委員会を開催した。 ・学則や施行細則で「別に定める」となっているものの、定めた文書がないものがあつた。今後学則等の見直しを行いたい。 ・業界での実習については、契約書、手引き等を通してコンプライアンス体制の整備に努めている。
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	3	
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4	
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	

・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3	・学校概要、自己評価、学校関係者評価のホームページでの公表をしていない。本年度分については次年度6月をめどに公表する予定である。 ・学生の様子等は、グループ内ネットワークであるサイボウズを使用して速やかに情報共有を行った。これにより多くの情報をもとに学生のアセスメントが可能となった。
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	3	
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(3) . 教育活動

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	・教育内容、到達レベルについては学生便覧及びシラバスにより明確にしている。また、学年の特性を踏まえ、補講及び個別指導等を実施し、到達目標レベルまで引き上げるよう工夫している。その上で教職員の振り返り、学生面談及び学生アンケートを実施し、学生のニーズをも取り入れ改善に向け努力している。しかし、指導内容の検討及び実施を学科毎に行ってきたため、多大な時間を要した。今後は、様々な指導法を学校全体で取り組むことで、効率的な指導が行われるようにする必要がある。また、指導の効率化によって、教員の授業準備、教材研究、研修に多くの時間が取れるように工夫する必要がある。 ・これまでリハビリセンター白鳥との間では2か月に1回会議をもち、スムーズな現場教育ができるようにしてきた。その一環として介護福祉学科では授業外の自主的な現場での課題解決実習をリハビリセンター白鳥で行い成果を上げた。 ・業界での実習のみならず、地域の中で学生を育てるために、地域のこども園・障害者施設での実習、多職種連携教育(IPE)、過疎山村の坂内での茅葺き体験、地元白鳥地区での狂俳学習、陽の里まつり等を行い、地元の方々との交流を図った。 ・成績評価等の基準、方法は学生便覧に明記している。 ・研修の決まりは申し合わせ事項としてあるが、規則等に規定されていない。研修規程の整備とともに、研修状況の把握に努める必要がある。実際、職員研修の内容は専門分野に偏り、教育方法論等についての研修は行われていない。質の高い教育のためには教育原理・方法についても学ぶ必要がある。 ・教員確保については、校長・総学科長を中心に学校全体として実施している。しかし、医師担当分野で医師の確保に苦慮している。 ・士会活動に参加をしているが、卒業生の卒業後教育として、明確な位置づけをしていない。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4	4	
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3	
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4	
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3	
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3	
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。 入学してくる学生に能力の差がある現状において、作業療法学科が行っている基礎的な学習能力を高める取り組みを学校全体で進めていってほしい。 現場を利用した多彩な教育が実施されているが、実習を受け入れている担当者へ現場教育の全体像がわるよう詳しく伝えてほしい。			

(4) . 学修成果

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
・就職率の向上が図られているか	4	4	・就職率は対就職希望者において100%で、資格取得率もすべての学科において全国平均を上回っている。 ・H26年からの入試内容の検討、日常的な国語基礎力向上への様々な工夫、認知特性の発見と日々の学習への応用、学生面談、保護者との連携を行い、平成30年度には退学率を7.9%に低下させることができた。 ・卒業生の活動状況の概要は把握できている。しかし学校教育へのフィードバックが不十分である。次年度はまず、卒業
・資格取得率の向上が図られているか	4	4	
・退学率の低減が図られているか	4	4	

・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4	生の就労・活動状況を把握し、整理する必要がある。
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(5) . 学生支援

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	<p>・学生への支援体制として担任制をしいているが、学生には相談したい教職員にいつでも相談できることも伝えている。</p> <p>・個々の保護者へはていねいな対応を心がけているが、生活環境の把握が不十分となることが多い。教育理念の浸透だけでなく学生の生活環境把握のためにも保護者会を定期的に開催していく必要がある。</p> <p>・設置法人グループでは様々な奨学金制度を整え、頑張る学生を支援している。</p> <p>・卒業生への支援体制はないが、相談に来る卒業生が多く、積極的に対応している。今後は卒業生に必要な情報ページをホームページに作成することから始めたい。また、卒後教育については各士会と連携強化していきたい。</p> <p>高専連携として高校等に対し出張講義やリハビリセンター白鳥と共同開催をしたインターシップを実施した。また、県が言語聴覚士会と連携して高校に啓蒙活動を行っているが、学校として協力している。</p>
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4	
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4	
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	
・学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	
・保護者と適切に連携しているか	3	3	
・卒業生への支援体制はあるか	3	3	
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(6) . 教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3	<p>・全館Wi-Fi整備し、学生がいつでも情報を入手できる環境を整えた。また、教育機器の買替時期に来ているものがある。今後計画的な更新を検討していきたい。</p> <p>・学校外での現場実習については、実習地と目標や学生情報等を共有するようにしている。</p> <p>・防災委員会はあるものの十分機能していない。火災訓練、備品の購入にとどまっている。早急に防災マニュアルを整備していきたい。</p>
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4	
・防災に対する体制は整備されているか	3	3	
【学校関係者評価】 防災を除き自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。 防災に関して、少なくとも授業中に災害が発生した場合の具体的対策を早急に設定してほしい。			

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	<p>・暗記から理解へと学習方法の転換を図り、学習成果が実践現場で役立つようにしている。その成果として高い国家試験合格率を維持している。このことをしっかり外部に伝えるために卒業生の声を集め、発信する必要がある。</p> <p>・介護福祉士の魅力を学校単独ではなく、県や自治体といった行政及び地域と一緒に進めていく必要がある。</p> <p>・学納金は、募集要項に記載したもの以外徴収していない。学納金については全国的にみて、最も安い学校に位置している。</p>
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3	
・学納金は妥当なものとなっているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。 きめ細かな指導で、退学率の低下・国家試験の高い合格率を維持しているが、親や高校の先生方への具体的情報伝達の方法を検討してほしい。			

(8) . 財務

評価項目	自己 評価	関係者 評価	現状、課題 及び改善策
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校部門は学生数の減少で厳しい状況であるが、法人全体では健全経営で財務基盤は安定している。まずは、本校単独の損益分岐点となるまで、学生数を増やすとともに経費節減、特に光熱費の削減を計画的に実施したい。 ・情報公開については十分とは言えない。まずは学校概要・学校関係者評価・財務状況をホームページ上で公開していきたい。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3	
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	
・財務情報公開の体制整備はできているか	3	3	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(9) . 法令等の遵守

評価項目	自己 評価	関係者 評価	現状、課題 及び改善策
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の専修学校自己点検表を用いて法令の遵守と適正な運営の確認を行ってきた。 ・個人情報の中でも、特に成績についてはPC上で保存していない。 ・自己評価については、毎年法人の事業報告・前述の自己点検表を中心に行ってきたが、今年度より専修学校学校評価ガイドラインに沿って実施し、問題点の改善に努めてきた。公表に関しては、冊子のみで、ホームページでの公表を実施していない。次年度6月をめどにホームページ上で公開していきたい。
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3	
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4	
・自己評価結果を公開しているか	3	3	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己 評価	関係者 評価	現状、課題 及び改善策
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉＝3Kというイメージ払拭し、「介護の魅力とやりがい」を発信するため、子供から大人までを対象に飛騨・高山方面等からのバスツアーを実施するなど、様々な形で地域貢献している。 ・リーダーシップ研修、VR認知症体験等新しい研修内容を取り入れ、地域住民から好評を得た。 ・ボランティアについてはボランティア委員会を中心に支援している。 ・社会人から入学してくる学生に対して離職者等委託訓練実施事業を実施している。
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(11) . 国際交流

評価項目	自己 評価	関係者 評価	現状、課題 及び改善策
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム・内モンゴル自治区に対して、計画・準備を行っている。また、日本語能力についてはN2又はN2相当とした。それぞれの言語による簡潔なパンフレット、動画を作成中である。その後、対象地において本校の紹介・説明をしていきたい。
【学校関係者評価】 自己評価、課題及び改善策に特段の問題はない。			